

## 令和 3 年度重点取組方針主要関連事業の取組状況について

### (1) 新たな時代に向けた人づくりの推進

- ① 幼児期において自己肯定感や非認知能力等を育むため、その役割を担う幼稚園教諭・保育士等の資質能力の向上を図るなど、生涯にわたる人づくりの基礎を培う幼児教育・保育を充実

#### 新 クリエイティブ・キッズ育成事業 <政策企画課> 14,000 千円

##### 【事業内容】

子どもの創造力・表現力の育成を図るため、デジタルからアナログまで様々なツールを活用したワークショップを一堂に集めたイベントの開催等

##### 【取組の現状】

- 「こどものためのあそび×まなびカタログサイト@やまぐち」を開設
  - ・ 6月3日以降、県内企業や団体、個人の方が行っている子ども向けのクリエイティブ体験活動の情報をとりまとめて情報発信中（8月1日時点登録数：30ワークショップ）。今後も随時更新
- 「こども向けワークショップファシリテーター研修会」を開催予定
  - ・ 10月頃、ワークショップコレクション出展者、幼児教育・保育者関係者等を対象に開催予定（9月頃、参加者募集を実施予定）
- 「ワークショップコレクション in やまぐち 2021」を開催予定
  - ・ 11月13日（土）～14日（日）の2日間、山口県セミナーパークで開催予定
  - ・ 5月21日～6月25日の間、出展者を募集し、約40のワークショップが出展予定
  - ・ 9月中旬頃、幼児・児童および保護者を対象に、一般参加者を募集予定（2日間で延べ4,000名）

#### 新 やまぐち未来アカデミア

#### （セミナーパーク指定管理事業） <政策企画課> 12,530 千円

##### 【事業内容】

幼児・小学生を対象に、自己肯定感や非認知能力を高めるための幼児向けプログラム「キッズスクール」を実施

- 第1回 5月16日（日）親子農園教室、昆虫教室（カブトムシの幼虫配布）
  - 第2回 6月20日（日）おもしろ科学実験、自由に体を動かそう（AFPY体験など）
  - 第3回 9月26日（日）レッツダンス、探検セミナーパーク（自由教室）
- ⇒ コロナ感染拡大防止のため中止

第4回 11月14日(日) ワークショップコレクション参加、親子農園教室  
場所：セミナーパーク 定員：60名

**【取組の現状】**

○20家族が参加し、第1回、第2回を実施

---

**新** 乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課> 33,265 千円

**【事業内容】**

乳幼児期の教育及び保育の更なる質の向上を図るため、新たに「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を設置し、ここを拠点に、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)への研修や調査研究、幼児教育・保育施設(保育所・幼稚園・認定こども園等)に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施

**【取組の現状】**

○県教育委員会に「乳幼児の育ちと学び支援センター」を設置(R3.4)し、幼児教育アドバイザー5名を配置

---

私立幼稚園地域子育て支援事業 <学事文書課> 12,948 千円

**【事業内容】**

幼児教育のセンターとしての役割を積極的に果たすため、私立幼稚園が実施する各種取組に対して助成することにより、地域における子育て支援を推進

**【取組の現状】**

○私立幼稚園に事業計画の提出を募り、教育の質の向上に向けた取組や地域における子育て支援の推進に関する取組に関して、36園からの応募を受け付け

---

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課> 18,228 千円

**【事業内容】**

平成30年度から施行された「新たな保育所保育指針」に基づき、保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修や、専門的な知識の習得を目的とした研修を実施することにより、資質向上を図るほか、地域の人材の掘り起こしを行うなど、安定的かつ長期的な保育人材の育成・確保を推進

**【取組の現状】**

○7分野(食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、障害児保育、マネジメント、幼児教育、乳児保育)に係るキャリアアップ研修を開催し、564人が受講

---

幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課> 3,568 千円

**【事業内容】**

幼稚園教諭の資質能力の向上及び幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園教諭免許法認

定に係る講習を開催（全6回）

**【取組の現状】**

- 幼稚園教諭二種免許状所有者が、一種免許状を取得するための幼稚園教諭免許法認定講習を3回開催し、82人が受講

**幼児教育充実事業 <義務教育課>**

3,017 千円

**【事業内容】**

乳幼児の教育及び保育の質の向上を図るため、乳幼児期の教育及び保育、保幼小連携に係る調査研究や研究大会を開催

**【取組の現状】**

- 乳幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、小学校教育が円滑に行われるよう、保幼小連携に係る小学校教諭との合同研修会の開催等により、連携を推進  
つながる子どもの育ち大会：11月18日実施予定

**【課題及び今後の対応】**

- 幼児の非認知能力や自己肯定感の向上に資するように、ワークショップや体験プログラムの内容充実及び提供者のファシリテーション能力の向上が必要であるため、新たな時代の人づくりアドバイザーを活用し質の向上等を図る。
- 幼児教育アドバイザーによる訪問支援については、園の運営全般に関わる助言が必要である。また、幼児教育・保育の現場や関係団体、市町等から寄せられるニーズに応じた研修を、公立私立や施設類型を問わず、一体的に実施できるように、連携を強化し、研修体系の改善を図る動きを生み出すことが必要である。
- 乳幼児の教育及び保育によって育まれた「生きる力」の基礎（資質・能力）をその後の学校教育に円滑につなげ、長期的な視点により「志」を実現できるように、保幼小の連携による取組の在り方を見直す必要がある。
- 各私立幼稚園において特色ある幼児教育を実施していけるよう、支援を行っていく。

- ②若者がふるさと山口への理解を深めることができるよう、郷土の歴史や伝統・文化、先人たちの「志」と「行動力」等について学ぶ学校教育や学外活動プログラムを充実

**新 やまぐちの未来を担うグローバル人材育成事業<政策企画課>**

9,500 千円

**【事業内容】**

高校生（10名）を対象に、鹿児島・高知・佐賀の高校生と交流しながら他県の歴史や

郷土の先人たちの「志」を学び、ふるさとの魅力を見つめ直す「薩長土肥高校生ふるさと探究事業」を実施

⇒ コロナ感染拡大防止のため中止

## **新** やまぐち未来アカデミア（セミナーパーク指定管理事業）＜政策企画課＞（再掲）

### 【事業内容】

○まちづくりセミナー（10月30日開催）

小学4年生～小学6年生を対象に、地域づくりの身近な取組に触れ、自分たちができるまちづくりを考えるWS等のプログラムを実施

○やまぐち志キャンプ（8月9日～11日、12月11日～12日開催）

小中学生を対象に、歴史遺産を活用したふるさと学習や、自然体験活動を通じた仲間づくり、講義、WS等のプログラムを実施

○やまぐち高校生ふるさと探究（9月18日～19日開催）

⇒ コロナ感染拡大防止のためオンライン開催

高校生を対象に、「明治日本の産業革命遺産」等を活用した、先人の「志」や行動を自分に置き換えて一步深く考えるふるさと学習や、山口県で活躍する先輩たちの講話やWS等を通じたふるさとを見つめ直すプログラムを実施

### 【取組の現状】

○やまぐち志キャンプの参加者を募集し、50名（小学5年生～中学2年生）が応募

○やまぐち高校生ふるさと探究の参加者を募集し、14校から38名が応募

## 生涯学習推進体制整備事業 ＜社会教育・文化財課＞

8,488千円

### 【事業内容】

山口県の先人に関する学習機会の充実を図るため、コンテンツの提供や関係書籍の整備を行うとともに、地域や学校に応じた道徳学習等による出前講座を実施

### 【取組の現状】

○セミナーパーク内の先人学習コーナーの管理・運営を行うとともに、Webページ「平成の松下村塾」を活用し、先人学習情報等を発信

### 【課題及び今後の対応】

- 子ども・若者の発達段階に応じたプログラムとなるよう、地域資源を活用し、内容の充実・質の向上を図る必要がある。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯を通じて学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。

③地域や社会が抱える課題を自ら発見し、他者と協働して解決する力や、主体的にキャリアを構築する力、グローバルな視野、AI等新しい技術を活用する力など、新たな価値を創造する力を育成

**新** やまぐちの未来を担うグローバルリーダー育成事業 <政策企画課> (再掲)

**【事業内容】**

自身を理解し郷土への誇りと愛着を持つローカルの視点と、多様な価値観や文化を理解・尊重するグローバルな視点を併せ持ち、他者と協働しながら地域や社会で活躍するグローバル人材の育成を目的とした「やまぐち未来維新塾グローバル」を開催

○グローバル発見プログラム

日程・会場：8月2日以降5回 17時～20時、オンライン

参加者：小・中学生計20名（英検3級程度）

○グローバル探究プログラム

日程・会場：12月、オンライン（3時間×3回）及び対面キャンプ（2泊3日）

対面キャンプ会場：セミナーパーク

参加者：中学生・高校生計30名（英検2級程度以上）

**【取組の現状】**

○グローバル発見プログラムの参加者を募集し、15校から23名（うち小学生3名、中学生20名）が参加

**新** やまぐちDX推進事業 <政策企画課>

10,000千円

**【事業内容】**

高校生・大学生等を対象に、先端テクノロジーを活用しながら社会人等と協働し、地域課題の解決等につながるソリューションやイノベーションなど、若者の新たな価値を創造する力を育成するためのアイデアソンなど、「やまぐち未来維新塾DX」を開催

日程：10月23日 基調講演（オンライン形式）

10月30日（土）、31日（日） アイデアソン及びハッカソン

会場：セミナーパーク

参加者：高校生・大学生等20名、社会人メンター10名

**【取組の現状】**

○9月末まで参加者を募集中

**新** やまぐち未来アカデミア

（セミナーパーク指定管理事業） <政策企画課>

（再掲）

**【事業内容】**

高校生を対象に、県内大学生・若手社会人をメンターとして、課題解決型WSを実施。

定期的にメンターとオンラインゼミを行いながらプランを深め、「全国高校生 MY PROJECT アワード」への出場を目指すプログラム「やまぐち若者 MY PROJECT」を実施

日程：8月7日・8日：スタートアップキャンプ（オンライン）を実施予定

以降、プロジェクト実践に向けて随時開催

12月25日：リフレクションプログラム（発表会）

1月：中四国サミット

場所：セミナーパーク（発表会）、全国大会（オンライン）

参加者：高校生40名、大学生、社会人等（メンター）20名程度

#### 【取組の現状】

○13校から34名の高校生、大学生・社会人各10名のメンターが参加し、スタートアップキャンプを実施

### **新** ものづくり企業におけるDX加速支援事業＜産業戦略部＞48,550千円

---

#### 【事業内容】

県内ものづくり企業における生産性の向上や新たな付加価値の創出を促進するため、5GやAI等未来技術の導入・利活用や新たな製品・技術等の創出、高度な専門知識を持つ企業内人材の育成を支援

対象：県内ものづくり企業等担当者

内容：先進機器を活用した実践研修の実施や資格取得に向けた研修受講支援等

#### 【取組の現状】

○実証事業の参加企業を募集中

○DX推進セミナー：7月7日に開催（オンライン）し、42社・団体の80名が参加

○DXソリューション体験セミナー：7月13日に開催（山口県産業技術センター）し、32社・団体の80名が参加

### **新** 中小企業DX推進総合支援事業 ＜経営金融課＞ 18,656千円

---

#### 【事業内容】

中小企業DX化の裾野の加速的拡大を図るため、フェーズに応じた切れ目ない支援を総合的に支援

#### 【取組の現状】

○経営層向け研修について、委託先と調整中

○e-ラーニングによるDX基礎研修については、現在募集中

### **新** 地域雇用創造事業 ＜労働政策課＞ 19,900千円

---

#### 【事業内容】

離転職者等のキャリアアップや職種転換に向けたIT分野等の職業訓練の実施

- 求職者のためのキャリアアップ支援
  - ・WEB事務マーケティング科（3か月、定員20人、山口市）
  - ・IT活用力習得科（3か月、定員20人、宇部市）

**【取組の現状】**

- 各職業訓練コースの受講者を募集中

**新** ICTを活用した先進的教育推進事業 <教育情報化推進室> 186,678千円

**【事業内容】**

- 時間と空間を超えた遠隔授業の実現
  - 海外や県外の教育機関、企業とICT技術で結び、遠隔地や企業を訪問することなく、交流体験や最新の技術・知識を学ぶことができる遠隔授業を推進
- 高校生ICTコンテストの開催
  - 県内の高校におけるICT利活用の促進や活用スキル向上を図るため、高校生を対象としたICTコンテストを開催
- 高校生データサイエンティストの育成
  - 次代の山口県を担う高度IT人材を育成するため、高校生を対象としたデータサイエンティスト育成講座を開催

**【取組の現状】**

- 時間と空間を超えた遠隔授業の実現
  - ・海外の学校とのオンライン交流を推進するためのコーディネーターを配置。  
遠隔授業には、17校が応募
- やまぐち高校生ICT活用コンテスト
  - ・ワークショップ開催日：8月1日（県庁等）、10月31日（山口大学）
  - ・ワークショップ参加者人数：47名
  - ・作品応募期間：11月1日～12月12日
    - ①学習コンテンツ ②デジタルアート ③DXチャレンジアイデア
    - ④DXチャレンジプログラム
  - ・メンター：北尾洋二氏（JOIN083リジョナルゼミットCEO、内閣官房地域活性化伝道師）
  - ・令和4年2月に最終審査会を山口県教育会館ホールで開催予定
- やまぐち高校生データサイエンティスト育成講座
  - ・高校生39名、高校教員22名応募
  - ・開講式および第1回ハンズオンセミナーを、KDDI 維新ホール（山口市）で開催（7月24日）。今後、オンデマンド配信講座、ハンズオンセミナー（計5回）、コンペティションを実施予定。
  - ・令和4年2月12日に閉校式と第5回ハンズオンセミナーをKDDI 維新ホールで開催予定

---

**私立高等学校等「未来型教育」支援事業** <学事文書課> R2補正：17,325千円

---

**【事業内容】**

デジタル社会の到来を見据え、私立高等学校等において整備が進む教育ICT環境を活用した新たな学びの導入・定着に向けて、専門的人材の配置など必要な経費を助成

**【取組の現状】**

- 私立学校に事業計画の提出を募り、ICT技術者の配置や教職員研修等に関して、7校からの応募を受け付け

---

**データサイエンス活用推進事業** <新産業振興課> 6,000千円

---

**【事業内容】**

新ビジネスの創出や生産性向上につながるデータサイエンスの活用とそれを担うデータサイエンティストの育成が強く求められていることから、産学公連携によりデータサイエンスの活用を推進し、県内企業の技術力・研究開発力を強化

**【取組の現状】**

- 山口大学の「データサイエンス講座（マスター講座）」の社会人受講者を募集
- 受講者のうち県内企業から受講推薦があった11名については、受講料を補助
- ビッグデータ解析等によるケーススタディは対象を募集中

---

**やまぐちハイスクールブランド創出事業** <高校教育課> 16,004千円

---

**【事業内容】**

「Society5.0への対応」と「地域創生に資すること」ができる人材を育成するため、専門高校等で学ぶ生徒が、学科の枠を越え協働しながら起業体験活動や商品開発及びブランド化等、新たな価値の創造につながる教育活動を実施

**【取組の現状】**

- やまぐちスマートスクールポータルサイトに「山口県の産業教育／就職支援」を開設し、ブランドデザイン基礎講座（テキスト・授業動画）を配信 ※ 受講にあたっては、1人1台タブレット端末を使用
- SNSを活用した模擬会社の経営に係る情報発信
- 商標（統一マーク）の考案と商標権の取得（R3年7月末現在 登録出願中）

---

**生涯学習推進体制整備事業** <社会教育・文化財課> (再掲)

---

**【事業内容】**

関係機関と連携し、各種講座やリカレント教育等に関する登録情報を充実

**【取組の現状】**

- 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用し、大学をはじめとする様々な団体が実施する講座等の情報を提供



## 【課題及び今後の対応】

- 課題解決力や行動力を育成するため、人づくり推進ネットワーク等を活用して企業等との連携を強化することが必要である。
- 企業においてA I等未来技術の導入・利活用等が円滑に進むよう、企業ニーズを踏まえた人材育成支援に取り組むことが必要である。
- 県内企業における生産性の向上や既存ビジネスの変革等を促進するため、経営者や求職者、就業者等に対してD X・I T分野に係る研修・訓練等を実施する必要がある。
- 各私立学校においてI C T教育環境を活用した特色ある教育活動を実施していけるよう、支援を行っていく。
- オンライン交流を推進するためのコーディネーターを活用し、海外の教育機関等との交流を行う学校を拡充させるとともに、交流内容を充実させる。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。

④障害がある者となない者が共に学ぶインクルーシブ教育システムの充実や、特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応等を進め、学びへの意欲を有する誰もが等しくチャレンジできる環境を整備

### 新 乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

(再掲)

#### 【事業内容】

再掲2頁

#### 【取組の現状】

- 幼児教育アドバイザー（特別支援教育）を配置し、幼稚園・保育所等に助言
- 各園の相談支援体制の強化を目的とした特別支援教育専門研修を開催予定

### 子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業

<学事文書課>

103,422千円

#### 【事業内容】

高校段階における子育て支援として、私学の多様な教育を選択し、安心して学べる環境づくりを推進するため、経済的な理由で就学が困難な生徒等を対象として授業料等の減免を行う学校法人に対する助成

#### 【取組の現状】

- 私立高校生の授業料等の軽減事業に対する支援を実施

## 私立高等学校等就学支援事業 <学事文書課>

28,530 千円

### 【事業内容】

家庭の状況に関わらず、意欲ある全ての私立高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、私立高校生等に対して授業料の一部（低所得世帯の生徒に対しては増額）を助成することにより、家庭の教育費負担を軽減

### 【取組の現状】

○私立高校に再度入学し学び直す場合の授業料等の軽減事業に対する支援を実施

## 子どもの居場所づくり推進事業 <こども家庭課>

11,243 千円

### 【事業内容】

ひとり親家庭等が抱える生活や子育てにおける課題に対応し、貧困の連鎖を防止するため、児童の生活・学習支援や食事の提供等を行う「子どもの居場所づくり」に係る取組を支援

### 【取組の現状】

○ひとり親家庭の子どもへの生活・学習支援を行う 4 市町への支援を実施

## 新たな学びを実現する教育 I C T 推進事業 <教育情報化推進室> 97,293 千円

### 【事業内容】

学習意欲を持ちつつも通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して、学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで接続し、遠隔授業を実施

### 【取組の現状】

- 総合支援学校において、全児童生徒への 1 人 1 台タブレット端末や、通常の端末操作が困難な児童生徒への入出力支援装置を活用した教育を実施
- 分身ロボット 5 台を導入し、訪問教育対象児童生徒や入院等で通学できない生徒に対して、遠隔授業を実施

## インクルーシブ教育システム推進事業<特別支援教育推進室>10,986 千円

### 【事業内容】

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進

### 【取組の現状】

- 総合支援学校や小・中学校等での通級による指導における自立活動の指導を適切に実施するため、I C T を活用した遠隔指導の手法について調査研究を実施
  - ・小学校 1 校、中学校 1 校、高等学校 1 校、総合支援学校 3 校をモデル校に指定
  - ・7 月に第 1 回全体研究会議を開催（外部専門委員 7 名、各モデル校教員 1 3 名出席）
- 障害の重度・重複化、多様化に対応するための外部専門家（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）を招聘できる体制を整備

- 市町教委と連携し、特別支援教育を担当する中堅教員の指導力向上に向けた研修会を開催
  - ・第1回を9月17日、第2回を11月11日に開催予定
  - ・参加予定人数37名
- 医療的ケアを必要とする児童生徒が校外学習に参加する機会を確保するため、看護師が同行して支援
  - ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、7月時点での校外学習への看護師同行はなし
- 総合支援学校高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、就職支援コーディネーターを配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施
  - ・県内4箇所（田布施総支、山口南総支、宇部総支、下関総支）に4名を配置
  - ・令和3年度（4～7月）就職支援コーディネーターの企業等への訪問回数計256回（オンライン82回を含む）

**いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課> 178,038千円**

**【事業内容】**

生徒指導上の諸課題に実効的に対応するため、外部専門家の配置や、関係機関との連携強化等により生徒指導・教育相談体制を充実

**【取組の現状】**

- 1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリング体制の整備
- 早期解決に向けた、SNS等を活用した相談体制の拡大・充実

**【課題及び今後の対応】**

- 貧困の連鎖を防止するため、引き続き、子どもの居場所づくりの取組を推進する必要がある。
- ICT機器の活用や専門家の活用等により、特別支援教育に係る体制整備を促進し、障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築を一層推進する必要がある。
- 令和2年度中に整備した学校のICT環境を効果的に活用して、障害のある児童生徒の教育活動の一層の充実や入院等で通学できない児童生徒の学習を保障するため、教員のICT活用指導力の向上を図っていく必要がある。
- 依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、迅速・的確かつ組織的な対応に加え、外部専門家や関係機関等との連携の強化による相談・支援体制およびICTの活用等による学びを充実させる必要がある。

⑤教育のICT化やコミュニティ・スクールの取組の充実、県内高等教育機関それぞれの特色や強みを活かした機能分担と連携など、地域や時代のニーズに対応した教育環境づくりを推進

**新** デジタル化対応産業教育装置整備事業 <教育政策課> 1,572,734 千円

**【事業内容】**

DXに対応し、地域の産業界をけん引する職業人材を育成するため、職業系専門高等学校等において最先端のデジタル化対応産業教育装置を整備

**【取組の現状】**

○年度末までに装置の調達・整備を完了予定

超小型マシニングセンタ（岩国工業）、3D測量・設計施工・検査システム（田布施農工）、人型ロボット実習システム（下松工業）、3Dプリンタ及び電子計算組織（南陽工業）、レーダーシュミレーター（大津緑洋）ほか

産業教育設備整備費 <教育政策課>

124,545 千円

**【事業内容】**

県内産業を支える人材を育成するため、専門高校等に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を整備

**【取組の現状】**

○年度末までに装置の調達・整備を完了予定

コンピュータ（防府商工、宇部商業）、万能材料試験機（山口農業、宇部工業）、普通汎用旋盤（小野田工業）、ボイラー（田布施農工）ほか

**新** ICTを活用した先進的教育推進事業 <教育情報化推進室> （再掲）

**【事業内容】**

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用するため、個別最適な学びに向けた基盤整備やICTの日常的な活用への支援、デジタル人材の育成等を推進

**【取組の現状】**

○統合型校務支援システムの導入

・県立高校の前倒し導入や特別支援学校への導入に向けて、調整中

・小中学校への導入に向けて、市町教委を対象とした情報交換会を6月23日に開催

○教育データの活用

教育データの効果的な活用等を検討するため、日本マイクロソフトと連携したワーク

ショップを7月26日に開催

○ICT支援員の派遣

県立学校に週1回程度ICT支援員を派遣するとともに、教員から直接問い合わせ等を受け付けるヘルプデスクを設置

---

**新** 次期県立高校将来構想策定事業 <高校教育課> 17,171 千円

---

**【事業内容】**

今後の中学校卒業見込者数の大幅な減少を踏まえ、社会の変化や生徒の多様化等にも対応する高校教育のあり方や、学校配置や学科構成等の方向性について、民間のシンクタンク等の客観的で詳細なデータに基づき、中・長期的かつ全県的な視点に立って検討し、次期県立高校将来構想を策定する

**【取組の現状】**

○令和3年4月、「県立高校将来構想検討協議会」（会長：鷹岡 亮 山口大学教育学部学部長）を設置し、協議会を開催（5月31日、7月12日、8月10日）

---

**新** 新たな博物館展示創出事業 <社会教育・文化財課> 20,000 千円

---

**【事業内容】**

鑑賞機会の拡大等を図るため、博物館展示室内外をオンライン等で結び、新たな博物館空間を構築

**【取組の現状】**

○山口博物館所蔵品のデジタル化及びデジタルデータを活用したコンテンツの制作に着手

---

**新** 県立社会教育施設感染症予防等事業<社会教育・文化財課>35,440 千円

---

**【事業内容】**

自宅等に居ながら読書や学習、調査・研究ができる電子図書館サービスの導入（山口図書館）

**【取組の現状】**

○導入する図書を選定やサービスの提供方法等を検討中

---

私立高等学校等「未来型教育」支援事業<学事文書課> (再掲)

---

再掲8頁

---

**大学等連携プラットフォーム運営事業 <学事文書課> 30,000 千円**

---

**【事業内容】**

県内高等教育機関、産業界等で構成する「大学リーグやまぐち」による県内進学や県内就職、地域貢献活動の促進に向けた取組を支援

**【取組の現状】**

- 大学リーグやまぐちに設置する3部会（県内進学・魅力向上、県内就職、地域貢献）を中心に県内大学・高等専門学校等が連携した事業を実施
- 山口県版PBL（課題解決型学習）を県内7大学（54テーマ）で実施

---

**山口県立大学第二期整備事業 <学事文書課> 948,534 千円**

---

**【事業内容】**

施設の老朽化や狭隘な環境など、山口県立大学が、施設や環境面で抱えている課題の解消と、県民の生活に身近な分野における学術研究機能・人材育成機能等の強化を図るため、施設整備を実施

**【取組の現状】**

- 令和3年4月に3号館（国際文化学部・社会福祉学部・図書館）を全面供用開始するとともに、福利厚生棟の建築工事等を実施

---

**新たな学びを実現する教育ICT推進事業 <教育情報化推進室> （再掲）**

---

**【事業内容】**

児童生徒にICTを活用した新たな学びの機会を提供するため、ICT機器や学校及び家庭のネットワーク環境を整備

**【取組の現状】**

- ICT機器の適切な管理やデジタル教材の充実、家庭の通信環境への支援、通学できない児童生徒のICTを活用した学習保障等を推進

---

**やまぐちハイスクールブランド創出事業 <高校教育課> （再掲）**

---

再掲8頁

---

**地域教育力日本一推進事業 <地域連携教育推進室> 95,043 千円**

---

**【事業内容】**

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進

**【取組の現状】**

- 各市町の地域連携に係る会議や研修機会の主体的開催を促進
- 活動推進の核となる人材が必要な知識・技能等を身に付ける「地域協育ネットコーデ

- ィネーター養成講座」、「家庭教育アドバイザー養成講座」等の実施
- 中学校区における統括コーディネーター等に対して地域学校協働活動推進員の委嘱を促進(R2.7:115人⇒R3.6:152人)
- 家庭教育支援チームの設置促進(R2.7:44チーム⇒R3.6:51チーム)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭教育支援チームの活動が制限されたことから、ICT環境の整備等、市町教育委員会との連携によるチームの活動支援を実施
- 5つのモデル中学校区においてPTAと連携した家庭教育支援の調査研究を継続実施

## 育ちや学びをつなぐコミュニティ・スクール推進事業

＜地域連携教育推進室＞

15,876千円

### 【事業内容】

全ての公立小・中・高等学校・総合支援学校等に導入されたコミュニティ・スクールの仕組みを生かし、義務教育段階で育んだ子どもたちの資質・能力を高校につなげていく本県ならではの地域連携教育の推進及びコミュニティ・スクールの活性化

### 【取組の現状】

- 学校・地域の課題解決等に向けて、校種間連携体制構築を図る「CS活動推進員」(R3.7:52人)を全ての県立高校等に配置
- 総合支援学校と小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールが連携した交流、共同学習の推進及び「協育サポーター」による学校と地域の日常的な交流の活性化

## やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業 <高校教育課>

4,940千円

### 【事業内容】

従来の学校における学びに加え、学校や学年にとらわれない多様な学びを提供することにより、これからの予測困難な社会の中で主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県高校教育の更なる魅力向上を推進

- ニューフロンティアセミナー
  - 対象：県立高校生1～3年（各学年30名程度、合計90名程度）
  - 内容：「人口減少」や「地域創生」等をテーマとして大学教授等による講義・演習、大学生とのディスカッション、高校生同士で議論したり、自分の考えを表現したりするセミナーを実施
- ドリカムゼミ
  - 対象：県立高校生1，2年生（各学年30名程度、合計60名程度）
  - 内容：テレビ会議システム及び1人1台タブレット端末を活用し、ハイレベルな講義・演習（言語能力、数学的思考力等）を実施
- アクティブ・ラーナー研修プログラム
  - 対象：県内高校教員（各教科5名程度、合計25名程度）
  - 内容：本県高校教育の魅力向上を図るための、教員の資質・能力の向上に向けた研修

の実施や大学入学者選抜改革に対応したオリジナル教材を作成

**【取組の現状】**

- 「ニューフロンティアセミナー」及び「ドリカムゼミ」に参加する生徒を募集し、県立高等学校等の生徒56人を受講生徒に決定
  - ◆ 「ニューフロンティアセミナー」(全5回)の実施
    - ・ 第1回(8/7)及び第2回(8/11)を実施
  - ◆ 「ドリカムゼミ」の実施(全5回)
    - ・ 第1回(8/16)、第2回(8/17)を実施
- 「アクティブ・ラーナー研修プログラム」に参加する教員を募集し、県立高等学校等の教員21人を受講者に決定
  - ◆ 「アクティブ・ラーナー研修プログラム」(全6回)の実施
    - ・ 第1回(8/20)を実施

**県立学校施設整備事業(高校再編整備・教室不足対策) <教育政策課> 1,483,985千円**

---

**【事業内容】**

多様な学びのニーズに対応し、自分の生活時間に合わせて学ぶことを可能とする、3部制の定時制課程と通信制課程を併せ持つ、新たな高校を整備するとともに、廃校施設を活用した総合支援学校の教室不足対策などを実施

**【取組の現状】**

- 生徒の多様な学びのニーズに応える山口県立山口松風館高校(令和4年4月開校)の開校準備
- 廃校施設を利用した教室不足対策として、豊浦総合支援学校の旧響高等学校移転に向けた基本・実施設計に着手

**生涯学習推進体制整備事業 <社会教育・文化財課>**

---

**(再掲)**

再掲8頁



## 【課題及び今後の対応】

- 各私立学校において I C T 教育環境を活用した特色ある教育活動を実施していけるよう、支援を行っていく。
- 山口県立大学について、本県が抱える政策課題や地域ニーズに対応していくことができるよう、大学が担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方等の検討が必要である。
- 令和 2 年度中に整備した学校の I C T 環境を効果的に活用して教育活動を一層充実させるため、教員の I C T 活用指導力の向上や I C T 活用機会の創出を図っていく必要がある。
- 最新のデジタル化対応産業教育装置の使用に必要なプログラミング技術の習得や地域と連携しながらの実践的な実習を行う。
- 学校・学科の特色や専門性を生かした高校ならではの取組を一層推進する上で、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした好事例の収集・発信を充実させる必要がある。
- コミュニティ・スクールの仕組みを生かした「やまぐち型地域連携教育」での横のつながり(学校・家庭・地域)によって育まれた子どもたちが、小・中学校から高校等への縦のつながり(校種間)の中で豊かな学びを連続させられるよう、学校運営協議会等での熟議の促進、活性化を図っていく。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。
- 今後、デジタル技術を活用した展示物や電子図書館サービスの提供により、文化資源の鑑賞機会や読書や学習等の機会の拡大を図る。
- これからの予測困難な社会の中で、高校生が主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県教育の更なる魅力向上を図る。

## ⑥教職員の資質能力の向上や、新たな学びを先導していくための体制整備を図り、新たな時代に向けた人づくりの推進体制を強化

### **新** I C T を活用した先進的教育推進事業<教育情報化推進室> (再掲)

#### 【事業内容】

県立学校の I C T 化が急速に進む中、教員が I C T を普段使いできるようにするため、教員に対する各種支援や環境整備、校内研修等を行う I C T 支援員を学校へ派遣

#### 【取組の現状】

- 県立学校に週 1 回程度 I C T 支援員を派遣するとともに、教員から直接問い合わせ等を受け付けるヘルプデスクを設置

**新** 乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

(再掲)

**【事業内容】**

再掲 2 頁

**【取組の現状】**

- 県教育委員会に、「乳幼児の育ちと学び支援センター」を設置 (R 3. 4)  
センターの運営・業務に幼児教育・保育の現場の声やニーズを的確に反映させるため、関係団体や市町と構成する「乳幼児の育ちと学び推進協議会」を設置し、第 1 回会議を開催 (R 3. 6)

私学教職員研修補助金 <学事文書課>

929 千円

**【事業内容】**

私立幼稚園、私立中学・高校及び私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上を図るため、山口県私立中学高等学校協会、公益財団法人山口県私立幼稚園協会及び一般社団法人山口県専修学校各種学校協会が実施する教職員研修に対して助成

**【取組の現状】**

- 上記 3 団体において、25 回 (受講者数 520 名) の研修を実施予定

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課>

(再掲)

再掲 2 頁

**新** 人づくりの推進体制の構築 <政策企画課>

740 千円

**【事業内容】**

県内の様々な関係者が目指すべき人づくりの方向性や課題認識を共有し、人づくり推進方針に沿った取組を一体となって推進

**【取組の現状】**

- 12 課・室からなる庁内横断的な組織「新たな時代の人づくり推進室」(室長：総合企画部次長)を総合企画部に設置 (R3.4)
- 人づくりの取組を不断に見直し、内容の充実と質の向上を図るため、「新たな時代の人づくりアドバイザー」6 名を配置
- 県内の様々な関係者が人づくりの目指す方向性や課題認識を共有し、一体となって取り組むための全県的な連携・協働組織「新たな時代の人づくり推進ネットワーク」(創設時 65 団体)を創設

## 教職員等研修事業 <教職員課>

24,739 千円

### 【事業内容】

教職員のキャリアステージに応じた基本研修に加え、職能や課題に応じて資質能力の向上を図るリーダー養成研修やキャリアアップ研修等を実施

### 【取組の現状】

- やまぐち総合教育支援センターにおいて、ICT活用に関する演習・協議を取り入れた基本研修を実施
- ミドルリーダー育成のためのリーダー養成研修、管理職研修においては、独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した講座を新設し実施

## ICTを活用した新たな学び推進事業 <教職員課>

17,718 千円

### 【事業内容】

ICTを積極的に活用したPBLやSTEAM教育等、新たな視点を取り入れた教育プログラムの実証・検証を行うとともに、それを推進する教員の育成と学校における体制を整備

### 【取組の現状】

- やまぐち教育先導研究室（YELL）が民間コーディネーター（株式会社電通）と協働し、「新たな学びの視点」を取り入れた「教育プログラム」を開発
- 上記プログラムをカリキュラム化し、各学校で実施する教員を養成する「「新たな学び」推進リーダー研修会」を実施
- 教育プログラムを全県へ普及させるため、県立学校各1人の参加による普及研修会を実施

## 幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>

（再掲）

再掲2頁

## 【課題及び今後の対応】

- 各私立学校における教職員の資質能力向上に向けた取組に対し、私学団体と連携し支援を行っていく。
- 次代を担う子ども・若者が、あまねく必要な教育を通して、能力を最大限に発揮して「志」を育み、行動していくことができるよう、「新たな時代の人づくり推進ネットワーク」や「新たな時代の人づくりアドバイザー」の専門的知見を活用しながら、「新たな時代の人づくり推進方針」に沿った取組を一体となって進めていくことが必要である。
- 幼児教育アドバイザーによる訪問支援については、園の運営全般に関わる助言が必要である。また、幼児教育・保育の現場や関係団体、市町等から寄せられるニーズに応じた研修を、公立私立や施設類型を問わず、一体的に実施できるように、連携を強化し、研修体系の改善を図る動きを生み出すことが必要である。
- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センター等と連携しながら、研修講座の一層の充実により、キャリアステージに応じた教職員の資質能力向上を図ることに加え、研修を通して「新たな学びの視点」を取り入れた教育プログラムのカリキュラムを検討・実施する人材の育成、カリキュラムの全県への普及を図っていく必要がある。

## (2) 若者の県内定着の促進

### ①若者の県内就職に向けた取組、大学生・企業のニーズに沿ったインターンシップ、「大学リーグやまぐち」との連携を推進

#### 新 新たな就職・採用スタイル推進事業 <労働政策課>

17,500 千円

##### 【事業内容】

コロナ禍にあっても若者等の就職や県内中小企業の採用機会を確保するため、コロナに負けない新たな就職・採用スタイルとしてオンラインによる就職・採用活動を支援し、県内就職を促進

##### 【取組の現状】

- 新たな企業魅力情報の発信
  - ・企業見学VR映像を制作中
  - ・VR映像を活用しオンラインとオフラインを組み合わせた県内企業の魅力情報発信イベントを9月6日に開催
- オンラインインターンシップの推進
  - ・オンラインインターンシップ導入に必要な知識やノウハウを習得できる県内企業向けセミナーを8月に4回開催（オンライン）

#### 高度産業人材確保事業 <産業戦略部>

6,635 千円

##### 【事業内容】

県内産業の振興に必要な高度専門知識を有する産業人材の確保を図るため、奨学金返還補助制度を実施するとともに、併せて県内就職をサポート

募集対象・定員：理系大学院生（修士課程1年）又は薬学部生（5年）・25名

事業内容：対象者の県内就職サポート（就職ガイダンス・企業見学会等）

就業実績に応じた補助金の交付

補助内容：奨学生が大学院等修了後に県内の製造業又は情報サービス業に従事した場合、就業期間に応じ、奨学金の返還額を補助

##### 【取組の現状】

- 県内製造業や情報サービス業（R3追加）への就職を希望する理系大学院生及び薬学部生を対象とした奨学金返還補助制度の新規対象者募集（定員25人）
- 対象学生への県内企業見学会（オンライン）等を実施予定

#### 若者県内定着促進事業 <労働政策課>

30,521 千円

##### 【事業内容】

大学生等を対象に、県内企業におけるインターンシップを総合的に推進するとともに、

スマートフォン向けアプリにより、県内企業の魅力情報を効果的に発信するなど、若者の県内企業等への就職・定着を促進

**【取組の現状】**

- インターンシップの推進
  - ・受入先企業の新規開拓や学生と県内企業とのマッチングを行うコーディネーターの配置
  - ・学生がオンライン上で参加申込できるウェブサイトの構築
  - ・夏季インターンシップの実施及び参加促進
- 県内企業の魅力情報発信
  - ・利用者のニーズに応じた就職情報等を閲覧・利用できるスマートフォン向けアプリの運用及び普及を実施

---

**県外人材県内就職促進事業 <労働政策課>**

**69,448 千円**

**【事業内容】**

県外大学との就職支援協定による連携の強化等により、県内就職を促進

**【取組の現状】**

- 県外就職支援協定締結大学との連携強化
  - ・協定校就職支援担当者と県内企業採用担当者による意見交換会を9月2日にオンライン開催

---

**大学等連携プラットフォーム運営事業 <学事文書課>**

**(再掲)**

**【事業内容】**

再掲14頁

**【取組の現状】**

- 「山口きらめき企業の魅力発見フェア(J o bフェア)」(11月13日(土)、維新百年記念公園維新大晃アリーナ)を開催予定
- 県西部ミニJ o bフェア(10月23日(土)、下関市立大学)、県東部ミニJ o bフェア(11月8日(月)、徳山大学)を開催予定

---

**やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業**

**<高校教育課・特別支援教育推進室>**

**49,694 千円**

**【事業内容】**

「ガイダンスの充実」、「求人開拓の強化」、「マッチングの促進」に取り組み、高校生の主体的な県内就職を促進

**【取組の現状】**

- 就職相談から求人開拓、マッチングまでを総合的に行う就職サポーター等を27人配

置し、生徒との個別面談の中で地元企業情報を提供

- 県内企業情報の分析、連携機関との窓口の一元化、広域マッチングなどを行うことを目的に、県内就職促進統括マネージャーを1名配置し、組織的な就職支援を実施
- 県内就職促進の取組として、早い段階から県内企業の魅力や県内就職の良さを学校の教員や生徒・保護者が理解する取組を強化
- やまぐちスマートスクールポータルサイトに「山口県の産業教育／就職支援」を開設し、就職支援に係るコンテンツを掲載
  - ・オンラインによる就職の面接試験等のポイント等をまとめた動画を配信（生徒用）
  - ・県内企業説明動画（118社）を配信
  - ・県内企業への理解促進に向け、Web版「山口県の工業」（商政課作成）のリンクを貼付
  - ・労働法制等に関する理解の深化に向け、「これってあり？まんが知って役立つ労働法Q&A」（厚生労働省作成）のリンクを貼付

#### 【課題及び今後の対応】

- 将来の地域産業を担う人材を育成するため、地域や地元企業と連携した実践教育・就業体験等を一層充実させ、実践力、課題を探究する力、コミュニケーション能力等の育成を図るとともに、地域産業への理解を深めさせることが必要である。また、県内就職比率の向上や高度専門知識を有する産業人材の確保に向けて、地域産業や県内企業の魅力に対する理解を深める取組等、ガイダンスや支援制度の充実とマッチングの促進が一層必要である。

#### ②若者の職場定着に向けた研修やセミナー、キャリアカウンセリングを推進

山口しごとセンター管理運営事業 <労働政策課>

196,002千円の一部

##### 【事業内容】

山口しごとセンターを中心として、関係機関と連携しながらキャリアカウンセリングやセミナーを核とした、個別相談から情報提供、能力開発、職業紹介に至るきめ細かなサービスをワンストップで提供することにより、県内就職の支援に加え、県内企業の産業人材の確保を促進

##### 【取組の現状】

- キャリアカウンセリング及び就職支援セミナーを随時実施

**【事業内容】**

県内の大学・短期大学・専修学校等の魅力や良さについて高校生等の理解を深めるため、県内大学等の情報発信・魅力発信と、高校生等の進路指導を一体化して実施

**【取組の現状】**

- 「県内大学魅力体験サポート」事業を実施
  - ・県立高等学校等を対象に、県内大学等と連携した取組や県内大学等のオープンキャンパスへの参加促進など、高校生が県内大学等の魅力や良さについて理解を深める取組として実施
  - ・各学校から提出された実施計画書に基づき、本年度の実施校として「県内大学等を高校生等が訪問する取組」11校、「大学生等が高校等に訪問する取組」3校を決定

**【課題及び今後の対応】**

- 若者の県内定着を促進するため、引き続き、若者に対するきめ細やかなキャリアカウンセリングやセミナー等を実施していく必要がある。
- 本事業を県内のより多くの県立高等学校等へ広げるため、本年度は県内大学等とオンラインで繋がる取組を新設・募集したが、この取組については学校からの応募がなく、実施できていないのが現状である。今後の対応として、各学校に配備した1人1台タブレット端末を有効に活用して県内大学等の情報発信を行う方法について検討中である。

**③高校生が主体的な選択により行う県内大学等への進路選択を支援するため、県と大学等との連携強化や高大連携による相互交流を推進**

**【事業内容】**

再掲14頁

**【取組の現状】**

- 県内大学・専修学校・高等専門学校等のオープンキャンパスマップをデジタルブックで作成し、高校生等に向けて配信(6月1日)
- 「県内進学・仕事魅力発信フェア」(令和4年2月15日(火)、維新百年記念公園維新大晃アリーナ予定)の開催を支援

**【課題及び今後の対応】**

- 「大学リーグやまぐち」等を通じ、県内大学等が特色や強みを活かした魅力の向上に連携して取り組むとともに、高校生が県内大学等の魅力や良さに理解を深めるための取組を推進する必要がある。



### (3) 教育環境の整備・充実

①児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制を充実

不登校児童通所指導事業 <こども家庭課>

276 千円

#### 【事業内容】

不登校等の状態にある児童及びその保護者を、児童相談所に通所させ、児童相談所の児童福祉司、児童心理司等及び非常勤の心理士、作業療法士等が、年齢に応じた生活指導、心理療法、作業療法等を実施し、児童の自主性、社会性の向上を支援

#### 【取組の現状】

- 7月末までに、1回開催し、3人の児童が参加
- 8月以降は、7回の開催を予定（児童の人数は未定）

いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課>

(再掲)

再掲11頁

思春期グローイングハートプロジェクト事業<学校安全・体育課>44,469千円

#### 【事業内容】

全公立学校において、心の専門家であるスクールカウンセラー（SC）により、いじめ等の未然防止に向けた心の教育（心理教育プログラム）を実施

#### 【取組の現状】

- 全ての公立学校にSCを年4回（1回4時間）派遣
- 1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリング体制の整備
- 早期解決に向けた、SNS等を活用した相談体制の拡大・充実

#### 【課題及び今後の対応】

○依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、迅速・的確かつ組織的な対応に加え、外部専門家や関係機関等との連携の強化による相談・支援体制の一層の充実を図る必要がある。

②子どもたちの豊かな学びを支える教育環境を充実し、持続可能な指導・運営体制の構築を図るため、学校における働き方改革を推進

統合型校務支援システム管理運営費・学校管理指導費

＜教育情報化推進室・教職員課＞

58,607 千円

【事業内容】

教員の長時間勤務の是正を図るため、「統合型校務支援システム」導入による校務の効率化を推進するとともに、ＩＣカード等による勤務時間管理や留守番電話の運用等により勤務体制等を改善

【取組の現状】

- 統合型校務支援システムの県立高校への前倒し導入や特別支援学校への導入に向けて業者等と調整を行うとともに、小中学校への導入に向けて、市町教委を対象とした情報交換会を６月２３日に開催
- 全県立学校にＩＣカード等、留守番電話、緊急用携帯電話を整備し、運用中

学校業務支援員配置事業

＜教職員課＞

41,025 千円

【事業内容】

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、学校の事務的業務を補助する「学校業務支援員」を配置する市町を支援

【取組の現状】

- 学校業務支援員を１４市町１２３校（小学校６９校、中学校５４校）に配置

やまぐち部活動応援事業

＜学校安全・体育課＞

41,211 千円

【事業内容】

技術指導が困難な運動部活動等に対し、専門的な指導や大会への引率等を行う部活動指導員を配置し、部活動の活性化を図るとともに、顧問教員の負担を軽減

【取組の現状】

- 部活動指導員を９市町４１校７２名（中学校）、２７校４２名（県立学校）に配置

【課題及び今後の対応】

- 教育職員の業務量を、時間外在校等時間の上限時間である、１か月４５時間、１年３６０時間の範囲内となるよう、適切に管理するとともに、令和３年７月に改訂した「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」に沿った取組を進めていく。
- 統合型校務支援システムの小中学校への早期導入に向けて、市町教委と連携して取り組んでいく。

③災害に備えた安心・安全な学校づくりや、コロナの存在を前提とする  
「新たな日常」等に対応した教育環境の整備を推進

**新** 県立社会教育施設感染症予防等事業 <社会教育・文化財課> (再掲)

再掲13頁

私立学校耐震化促進事業 <学事文書課> 14,102千円

**【事業内容】**

子どもの命を守り、地域の避難所としても機能する私立学校の施設について、学校法人の実施する耐震化対策を促進し、防災対策を強化

**【取組の現状】**

- 私立学校施設の耐震化を促進するために、耐震補強・改築工事等への支援を実施  
(学校の耐震化率 私立中学・高等学校：91.3%、私立幼稚園・認定こども園：91.1%)

県立学校施設整備事業(長寿命化、耐震対策等) <教育政策課> 368,535千円

**【事業内容】**

施設の長寿命化や、外壁など非構造部材の耐震対策、新型コロナウイルス感染症対策としての空調設備更新などを実施

**【取組の現状】**

- 県立学校施設について「長寿命化計画」に基づく改修等に着手
- 県立学校施設の外壁改修等の非構造部材の耐震対策を実施
- 市町立学校の耐震化の完了に向け、引き続き積極的な働きかけを実施  
(公立学校の耐震化率 県立学校100%、市町立小中学校：98.4%、市町立幼稚園：97.7%)

学校安全総合推進事業 <学校安全・体育課> 4,144千円

**【事業内容】**

「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施

**【取組の現状】**

- 大学等の専門家と連携した学校防災に係る研修会を実施するとともに、日時等を事前に告げない避難訓練の実施に向けた普及啓発を実施

#### 【課題及び今後の対応】

- 県立学校施設について、長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理の取組が必要である。
- 安心・安全な学校づくりに向けて、引き続き、学校等施設の耐震化を推進する。
- 今後、デジタル技術を活用した電子図書館サービスの提供により、読書や学習等の機会の拡大を図る。